

がんばろう能登プロジェクト 第3弾

被災された能登地区の子どもたちへのバドミントン環境を整える
【～夢中にバドミントンができる機会を～】

第3弾

日 程：7月20日（土）

会 場：鹿島体育センター

対 象：能登地区の中学生・高校生及び県内指導者

主 催：石川県バドミントン協会・石川県高体連バドミントン専門部

???：日本バドミントン協会 ←申請予定

協 力：スポーツのちからプロジェクト ←申請予定

協 賛：ヨネックス株式会社・株式会社ゴーセン

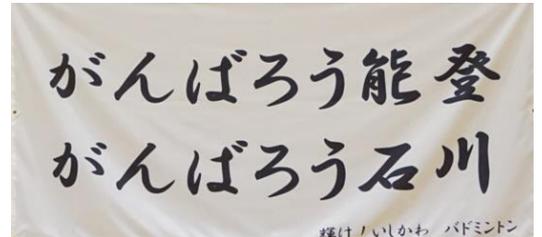
後 援：北國新聞社

費 用：がんばろう能登プロジェクト笑顔バドの口座より

内 容：漆崎真子さん(※1)を招聘し、子どもたちへのバドミントン指導及び指導者
に対する講習会をおこなう

※1 講師：漆崎真子（AKUA BADMINTON コーチ）

経歴：筑波大⇒山陰合同銀行にて活躍し、2019年日本代表に選出



□ 座：北國銀行 本店営業部 普通 791593
がんばろう能登プロジェクト笑顔バド

能登の現状：体育館が避難所となっておりバドミントンを行える環境が整っていない

※現在、少しずつバドミントンができるようになってきている。週1回程

奥能登地域では生活の再建はまだ先になる。未だに断水が続いている地域もある。

期待される効果：選手：バドミントンを通じて元気・笑顔を取り戻し被災地での活力となる

バドミンントンの楽しさを知る・感謝の気持ちを持てる選手の育成

指導者：指導力向上及び選手たちへのアプローチ方法を学ぶ

コーチングの専門知識を兼ね備えた根拠あるグッドコーチングを学ぶ

選手たちにバドミンントンの楽しさを教える指導方法

支 援：この機会を通して、寄付していただいたバドミントン用具を分配する

企画を通して ⇒ 高校生から **ジュニア世代へ拡大** ⇒ 地域のバドミンントンの活性化
⇒ 被災地の方々の自立

【バドミンントンを通した持続的な支援に向けたムーブメントをつくる】